

お知らせ

記者発表資料
配布日時

令和2年2月26日

■同時発表先：

鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、合同庁舎記者クラブ、山口県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

簡易型河川監視カメラ画像のウェブ提供を開始しました ～河川監視カメラが1.8倍に増えます～

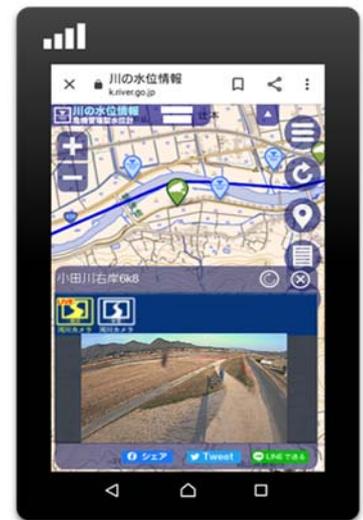
身近な河川の状況をリアルティをもって伝え、地域の方の避難に活用いただくため、今年度から「簡易型河川監視カメラ」の設置を進めています。

この度、平成30年7月豪雨において、大規模な浸水被害が発生した高梁川水系高梁川や小田川などをはじめ全国に設置した簡易型河川カメラ画像のウェブサイトでの提供を開始しました。

- 平成30年7月豪雨においては、洪水時に河川の状況をリアルタイムに把握する手段が十分ではなく、住民の避難行動を強く促す河川画像などの情報を発信することが課題でした。
- そのため、多数の地点に設置ができる簡易型のカメラを「革新型河川技術プロジェクト」において開発しました。（詳細は別紙参照）
- 今年度から現地へのカメラ設置を開始し、令和2年2月26日時点で53箇所の画像の提供を始めました。
- 今後、カメラの設置を進め、令和2年出水期までに国管理河川約230箇所の画像の提供を開始する予定です。既に画像を提供している従来型のCCTVカメラ（約310箇所）と合わせて、これまでの1.8倍（約540箇所）の箇所の河川状況が確認できるようになります。
- カメラの画像は、以下のウェブサイトで閲覧可能です。

『川の水位情報』

<https://k.river.go.jp>



配信イメージ

【問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局

☎ (082) - 221-9231 (代表) (平日昼間)

河川部 水災害予報センター長 伊藤 健 (内線 3851)

河川部 水災害対策専門官 丸下 淳一 (内線 3852)

【広報担当窓口】

国土交通省 中国地方整備局

広報広聴対策官 岩下 恭久 (内線 2117)

企画部 環境調整官 坂本 泰正 (内線 3114)

簡易型河川監視カメラの概要

- 電源・通信ケーブルの確保不要で容易に設置が可能なカメラ。月明かり程度の明るさで静止画撮影が可能。
- ズームや首振り機能を限定することでコストを縮減。
- リアリティのある河川の状況を画像で伝えることで、住民の適切な避難判断を促す。

【特徴】

屋外に容易に設置

- 無線式の場合は電源・通信ケーブルの確保不要（無線通信、太陽電池等を利用）

機能を限定しコストを低減

- ズームや首振り機能は削除
- 機器本体価格は、30万円/台程度

インターネットを経由して画像を収集

- 水位計のデータ等と併せて提供

【配信イメージ】



(昼間)



(夜間)

【設置状況】



(全景)



(カメラ部)

「川の水位情報」
<https://k.river.go.jp>



※本ウェブサイトでは水位情報も確認できます。